

50万区民が誇れるまちづくり

平成27年第一回区議会定例会が、2月19日から開会されています。会期日程は3月17日(火)までの27日間で、「平成27年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

山崎区長が所信を表明



区長所信表明 (要旨)

平成27年度予算編成の大綱

日本経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果などもあり、緩やかに回復していくことが期待されていますが、消費者マインドの弱さなどから、先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした経済情勢を踏まえ、国の平成27年度予算は、「経済再生と財政再建の両立を実現する予算」として編成されています。

都の一般会計の予算規模は、前年度比4.3%の増で3年連続の増となっています。また、特別区の財政運営に影響を与える都税収入は、前年度比7.5%の増となっています。

50万人都市・江東 魅力発信予算

本区を取り巻く財政状況は、特別区税において、納税義務者数の増加や所得環境の改善等により、前年度比4.3%増と過去最大規模を見込んでいます。また、特別区交付金は、特別区全体で減収が見込まれる中、本区は人口急増等により、昨年度と同額としています。

しかし、本区の財政基盤は景気動向などに大きく左右される構造となっており、歳入環境は、依然として厳しい状況であると認識しています。今後の財政運営についても、国・都の補助制度の活用はもとより、これまで培ってきた基金や起債の財政力を最大限有効活用していくことが重要です。

平成27年度予算は、人口50万人となり飛躍を続ける江東区が、今後、区外、世界へもさらに魅力を発信する予算として、「50万人都市・江東 魅力発信予算」を編成しました。一般会計の当初予算は、前年度比1.4%の増となっています。

予算の特徴は、まず、オリンピック・パラリンピック開催に向け、

「江東区東京オリンピック・パラリンピック基金」を設置します。これは大会成功に向け実施する関連事業の財源を確保するとともに、財政の透明性を高めるため収支の明確化を図るものです。平成27年度は、本区の魅力を区外、世界に積極的に発信していくためのブランディング戦略の検討などに活用します。

長期計画(後期)のハード事業では、4月に豊洲西小学校が開校し、8月には江東区中央防災倉庫が完成します。9月には、出張所、文化センター、図書館等の複合施設「豊洲シビックセンター」が開設します。豊洲シビックセンター内の出張所では、取り扱い業務を拡大するなど区民サービスの向上を図ります。

ソフト事業では、マンション耐震改修助成の拡充を図るなど主要事業の着実な推進に向け、予算を計上しています。

予算編成にあたっては、事務事業の総点検による事業の見直し、広告事業の推進などの歳入確保、民間委託の推進など、行財政改革にも積極的かつ着実に取り組んでいます。

江東区長期計画(後期)策定

現在の長期計画は、平成22年3月に策定しましたが、東日本大震災の発生や東京オリンピック・パラリンピックの開催決定など、区政を取り巻く環境は大きく変化し、新たな課題も生じています。

こうした長期計画策定時には想定し得なかった社会経済情勢の変化や多様化する区民ニーズに的確に対応するため、3月に「江東区長期計画(後期)」を策定します。

この計画では、長期計画で示した考え方を踏襲しつつ、必要に応じて見直しを行い、2つの重要課題と7つの重点プロジェクトを掲げました。

本区の重要課題とその取り組み

築地市場の豊洲移転整備

都は、昨年末、豊洲新市場の開場時期を平成28年11月上旬と決定しました。本区はこれまで、食の安全を守るために土壌汚染対策を確実に実施するよう求めてきましたが、昨年10月に土壌汚染対策工事が完了し、11月に開催された「豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する技術会議」の結果、都として豊洲新市場用地の安全性が確認できたとのことです。今後も、地下水管理システムの運用状況などを注視し、継続して安全性の確保を求めていきます。

また、引き続き、市場に併設される千客万来施設について、現在の築地のにぎわいを継承・発展させ、新たな観光名所とすること、地下鉄8号線の延伸などの総合的

な交通対策の実施や、環境まちづくりへの最大限の配慮などを都に対して求めていきます。

中央防波堤埋立地の帰属

中央防波堤埋立地は、長年にわたり、ごみの終末処理をすべて負わされてきた江東区民の犠牲の上に造成された土地であり、本区に帰属することは明白です。

2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、中央防波堤埋立地に馬術やマウンテンバイクなど、3つの競技場が整備される予定となっています。円滑な競技場の整備、運営等のもと、大会終了後の土地利用を見据えると、早急に本帰属問題を解決しなければならないと考えています。

今後、区民・区議会のご理解とご協力のもと、毅然とした強い姿勢で、本区の主張を関係機関に対し働きかけていきます。



◀競技場も整備される予定の中央防波堤埋立地

3面へつづく